

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

ロータリーを实践し
みんなに豊かな人生を

第 2526回 例会
平成26年2月14日(金)
天候 雨
合唱 我が生業
四つのテスト

会 長 渡辺 久恭

幹 事 石田 浩二

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716

例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原

TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

まず、ご報告から、2月14日—15日の「新会員の集い」は雪の為、安全を期して中止することを決定しました。今後については、後日ご連絡があるそうです。

室伏学 会員よろしくお祈りします。

会長幹事会で話題になっていましたが、会場が、箱根の小涌園で、去年も雪で2日目、短縮になっていて、また、今年も何故、この時期に同じ会場にするのか、皆さん心配していました。

先週、ガバナー事務所より米山奨学生の世話クラブとカウンセラーお引き受けについてのお願いの案内が来ました。2014学年度も皆様のご支援により、新規奨学生を17名、継続学生8名、合計25名を迎えることになりました。

大学で選抜された優秀な学生で、ロータリアンの目で審査し、合格となった外国人留学生です。世話クラブとしてお引き受け頂きたい、お願い申し上げます。

また、米山記念奨学事業を多くの会員にご理解頂くため、カウンセラーは初めて経験する方を選び、ご推薦にいただきたい、お願い致します。

ご依頼する新米山奨学生は

氏名：姚 家詠 (ヤオ ジャーヨン)

性別：女 国籍：台湾

大学：神奈川県 (平塚) (課程：修士)

奨学期間：2014年4月～2015年3月

なお、4月から奨学期間は始まりますが、実際に奨学生を受入れていただくのは5月からとなります。との事です。1

先ほど、臨時の理事会で、承認して頂いて引き受ける事に決定致しました。カウンセラーは常盤会員に気持ちよく引受けて頂きましたので、ご報告いたします。

幹事報告

会長挨拶で会長が発表したため、省略

スマイルBOX

結婚記念日 伊藤伸之君 (2/15)

入会記念日 高杉尚男君 (15年・H11.2.5)

土屋一弘君 青森県へ旅行してきました。湯河原より暖かでした。

常盤章夫君 土屋会員ご夫婦に誘われて青森竜飛岬見学旅行に行っていました。2月9日大雪の朝出発して2泊3日の旅でした。無事11時頃帰郷致しました。

伊藤伸之君 今朝の朝日新聞の記事で、膠原病の一つであるエリマストーデスの原因遺伝子がわかったとの事です。あと10年もすれば薬もできるのではと期待しています。

出席報告	ゲスト1名 ビジター 0名	会員 24名
	欠席 2名 (免除者 2名)	出席率 100.00%
	前回の修正出席率 95.45%	前々回の修正出席率 95.83%

ゲスト：野村證券小田原支店長 蔭山弘行様

石川 博君

代講 野村証券小田原支店長 蔭山弘行様

本日は、野村証券が考えます日本の将来について簡単にご説明させていただきます。内容は大きく分けて以下の3つです。

- ① 昨年からのマーケット状況の確認。
- ② 今後の行方（アメリカ、日本、ヨーロッパの経済金融情勢から読み解く）
- ③ 日本経済の更なる発展に向けてのポイント

まず①です。昨年の日経平均は年間で 56.7%上昇（過去4位）。為替は 22.1%円安（過去2位）と歴史的な上昇相場でした。この上げの主因はアベノミクスです。アベノミクスは「3本の矢」で構成されています。第一が景気対策。第二が金融政策。第三が成長戦略となっています。

去年は第一の矢の震災復興などの公共事業の増額、第二の矢の日銀の金融緩和が実施され、円安と期待感から実態経済も改善しました。今後重要なのは第三の矢の成長戦略です。

第三の矢の成長戦略がうまくいくかどうか最大のポイントですが、ここについては③で詳しく説明させていただきます。

次に②今年行方を見通すために、世界全体の方向性を確認します。まずアメリカです。アメリカはリーマンショック以降、金融緩和を開始し QE1、QE2 の後 QE3（QE1、QE2、QE3；米国量的緩和政策）を行っていました。が、昨年末の 12/18 の FOMC（連邦公開市場委員会）で本年 1 月より緩和の縮小を決めました。また今年より FRB 議長がイエレン氏に交代しています。現在はその方向性や効果も見えない不安もあり年明けから世界中不安定な動きをしています。耐久財受注や自動車販売、住宅市況から考え今年後半にかけてアメリカ経済は 3%程度の成長が続くと予想しています。

又日本の状況は昨年同様金融緩和が継続されること、消費増税の影響を考慮した対策が講じられることから 2%台半ばの成長が続くと予想しています。

ヨーロッパは最悪期を脱してプラス成長に回復してくると予想しています。

結果として世界経済全体では 2013 年の 2.9%成長が 2014 年 3.5%成長にやや成長が加速すると考えています。

最後に③の日本経済発展のポイントですが、企業の内部留保が過去最高の 304 兆円あること、公的年金の資産運用の変更が予定されていること、NISA 制度の開始により個人金融資産 1500 兆円の資金が動き出す可能性が高いこと、デフレからインフレに転換し現金の価値が低下しやすい事など、経済成長のバックグラウンドたる資金が動き出す可能性は十二分にあります。問題は第三の矢たる、成長戦略が明確に打ち出されるかにかかっていると思います。

企業の給与水準の引き上げ、投資減税、法人税引き下げ、経済特区構想、規制緩和などの施策が実行されれば、2020 年のオリンピック開催に向けた投資にもうまく繋がると考えます。

以上、野村証券が考えます日本の成長シナリオを説明させていただきました。皆様の経済活動の参考になりますれば幸いです。

どうもご清聴有り難うございました。